



## 長期戦略・変革プランについて ～集めて・つなげて・価値を創る 中小企業経済圏～

株式会社商工組合中央金庫（本社：東京都中央区、代表取締役社長：関根 正裕 以下商工中金）は、2035年に向けた商工中金グループの長期戦略・変革プランを策定しましたので、お知らせいたします。

日本の国際競争力の低下、デフレ脱却の動きや地政学リスクの高まりなどによる経営環境の不確実性の高まり、人口減少などの構造的変化やテクノロジーの進化など、社会の大きな環境変化により、日本の中小企業は多様な課題に直面しています。

商工中金は、90年にわたり中小企業専門の金融機関として、全国の中小企業の皆さまをサポートしてきました。昨年6月の民営化を機に、改めて中小企業の皆さまにどのように価値貢献すべきか議論を重ね、今般、長期戦略・変革プランの策定に至りました。商工中金グループは、中小企業に関わる様々な関係者を“集めて・つなげて・価値を創る”中小企業経済圏の確立・活性化を通じ、中小企業を中心とした圏の参加者の価値向上に貢献してまいります。

### 長期戦略・変革プラン 概要

商工中金グループは、PURPOSE「企業の未来を支えていく。日本を変化につよくする。」の実現に向けた中小企業経済圏の確立・活性化のために、「プロデューサー」として主役である中小企業を支え、圏の参加者の価値向上に貢献します。

1. 外部情報と経営資源が不足する日本の中小企業のために、商工中金グループは長期戦略に「中小企業経済圏」を掲げ、そこに「集まる」多様な参加者を「つなげて」新たな価値創造に取り組みます。
2. 5つの変革（①タテからヨコへ、②連携から共創へ、③守りから成長へ、④ローカルからグローバルへ、⑤DXからAXへ）を通じて、商工中金グループは「中小企業経済圏」の確立・活性化に取り組みます。
3. 中小企業専門金融機関としての90年の歴史が築き上げた「3つの資産」（①中小企業や中小企業団体中央会、産学官、大企業との「重層的ネットワーク」、②株主である組合・中小企業、中金会・ユース会などの顧客基盤、③中小企業を全力でサポートしたいという志を持つ役職員）を活かして、商工中金グループしかできないサービスを提供します。
4. 商工中金グループは自らのビジネスモデル、経営の仕組み、人財・組織風土を変革する全社改革を継続します。

# NEWS RELEASE

## SHOKO CHUKIN BANK



5. 中小企業経済圏の成長を、商工中金の独自指標 SCV (Shokochukin Co-creation Value) で計測し、創出した価値を株主や圏のステークホルダーに還元します。

長期戦略・変革プランの詳細は[こちら](#)

### ◆中小企業経済圏 イメージ図

